

## 議 事 概 要

会議の名称	令和7年度第4回北茨城市水道料金等審議会
開催日時	令和7年9月24日（水）午後1時30分～2時5分
開催場所	北茨城市役所3階 全員協議会室
会長氏名	和田 祐司
出席者氏名 （委員）	上神谷英典委員、沓澤和彦委員、鈴木康子委員、滑川宗宏委員、赤木敦委員、鈴木信俊委員、原一治委員、小関裕子委員、石川浩司委員、和田祐司委員
事務局	水道部長、業務課長、施設課長、工務一・二係長、業務係長、料金係長、業務係主任、料金係主任
諮 問	水道料金の適正化について
議 事	（1）答申書（案）について

答申案のとりまとめが行われました。その中で、次のとおり、ご意見・ご提言をいただきました。

### 主なご意見・ご提言

委員の意見を反映し、国・県・市への財政支援の拡充を盛り込んでおり、賛同する。

水道事業は、「命の問題」であり、老朽化した水道管の更新や、大規模災害への備え、人口減少を見据えたDX推進をし、安心・安全な水道を次世代に引き継いで欲しい。

現在の水道事業が、経費の全てを使用料で賄う独立採算制に隠れ、市民生活に大きな影響を及ぼす大幅な値上げにつながっている。料金体系を根本から見直す必要があり、国・県・市からの財政支援（繰入）が必要である。

県内の他の自治体でも、市の財政から繰入を行っているのが現状である。

25.8%の大幅な値上げは、市民生活にとって耐えがたい影響があるのではないかと懸念する。

今回、本来あるべき水道料金体系との違いも見えてきており、北茨城市だけではな

く、水道料金の値上げは今後も避けられないため、次回に向けて、いかに上げ幅を抑え、効率的に経営していくかが重要である。

子どもたちに水道を残していけるのか心配。残していくためには、維持管理、料金の見直しは必要となる。

水道管の老朽化が全国的な問題になっており、人口減少が進む中で今後も同様の議論が続くと予想されることから、次世代のためにも維持管理がより重要となる。

委員からの意見を踏まえ、財政出動（支援）について盛り込んだことは良いことであり、自治体の体力差によって生じる課題（料金格差）について、北茨城市から地方創生における財政支援の必要性を発信していくことへ期待する。